

平成30年度 今治河野美術館及び今治城指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市河野美術館及び今治城
所在地	今治市旭町1丁目4番地8、今治市通町3丁目1番地3
指定管理者	<p>名称 一般財団法人 今治文化振興会</p> <p>代表者 理事長 檜垣 清隆</p> <p>住所 今治市旭町1丁目4番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>教育委員会 文化振興課</p> <p>TEL:0898-36-1608</p> <p>E-mail:bunka@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	<p>河野美術館は、文化芸術の振興に寄与することを目的とした施設であります。館蔵品の常設展・企画展のみならず、地域の作家の個展、グループ展及び近年では高齢者の生き甲斐づくりとしての作品発表の場所として提供し、その利用価値は多大なものがあり、総括的には施設の目的達成のために非常に役立っていると考えています。業務を遂行する上で、地方自治法をはじめ指定管理者関係法令を遵守しつつ、その設置目的に沿いながら、事業を実施しました。</p> <p>今治城は、城郭の公開とともに郷土資料、美術品等の収集保管、調査研究及び展示を行うことにより文化向上に寄与することを目的とした施設であります。単なる城郭や郷土文化財の公開にとどまることなく、利用者参加型の事業を行うなど、郷土文化財の顕彰に努めています。業務を遂行する上で、地方自治法をはじめ指定管理者関係法令を遵守しつつ、その設置目的に沿いながら、事業を実施しました。</p>	B	<p>指定管理者は、河野美術館において、文化芸術の振興に寄与していくという目的を理解していると思われる。また、今治城においては、城郭の公開、郷土資料・美術品等の保管・展示を通して文化向上に寄与するという目的を理解していると思われる。長年に亘り当該文化施設の管理を実施している団体であり、本市の文化行政推進についても理解していると思われる。</p> <p>今後も地方自治法をはじめ指定管理者関係法令等を遵守しつつ、施設の設置目的や基本方針に沿って、業務を実施していただきたい。</p>
利用状況	B	<p>河野美術館は、観覧状況は年間8,647人で、前年度に対し1,108人(15%)の増加です。隔年開催の日本版画会今治巡回展の開催年であったことが要因と考えられますが、全体的な傾向としては、貸会場も含めた入場者数は減少気味となっています。また、施設使用回数も1479回(33%)と前年度を上回っていますが、使用料収入については減収となりました。理由としては、巡回展やアートクラブグランプリなどの自主事業を優先させたため、有料となる一般向けの使用許可が影響を受けたことが考えられます。現代美術の特別企画展などの自主事業は、貸館サービスと開催時期を十分調整する必要があります。</p> <p>今後も継続して情報発信や企画の充実、設備の改善に努め、利用数の増加および満足度の向上を目指します。</p> <p>今治城の観覧状況については、前年度比で、観覧者数が72,835人(87%)となり、前年度より減少しています。7月豪雨災害による風評被害により、大幅に入館者が減少したことによります。駐車場利用台数も使用台数が39462台(92%)となり、同じく減少しました。</p> <p>但し、特別展等の開催やホームページなどを活用した情報発信や広報宣伝の充実により、特に1月以降は昨年と同等の観覧者数まで回復することができました。</p> <p>今後も継続して情報発信や企画の充実、設備の改善に努め、利用数の増加および満足度の向上を目指します。</p>	B	<p>7月豪雨災害の影響のため、河野美術館、今治城ともに利用者数が前年度と比較して減少した。</p> <p>積極的に新たな取り組みを行うことで、新たな利用者獲得に努め、また、引き続き来館者のニーズ把握を行い、魅力ある展示を行うとともに、周知方法の工夫も行い、利用率の向上につなげていただきたい。</p> <p>河野美術館においては、館の自主事業実施と貸館利用の調整を図り、利用者数の増加に努めていただきたい。また、今治城においては、インバウンドやお城ブームなどの時流にあわせた継続的な取り組みを行うとともに、お城ブームが下降する事態も想定し、新しい利用者獲得に取り組み、利用者数の増加に努めていただきたい。</p>
事業収支	A	<p>河野美術館は、引き続き経費節減に努めています。</p> <p>今治城は、西日本豪雨などによる今治城での観覧者数の落ち込みに伴う利用料金収入の減少(13%)はありましたが、経費節減に努め、最終的には法人全体で黒字を維持することができました。</p>	A	<p>河野美術館、今治城ともに、税理士との相談等により適切な会計処理が行われたことは、評価できる。</p> <p>引き続き経営状況の分析を進め、適正な収支計画の立案、経費削減に努めていただきたい。</p>
管理運営体制	A	<p>河野美術館の人員配置の体制は仕様書のとおりであり、勤務ローテーションも関係法令どおり遵守しています。管理運営の根幹を成す収蔵品の管理・保存・調査研究、常設展・企画展の開催などは、主として各分野の学芸員の技量に負うところが多く、各種研修会等に積極的に参加しスキルアップに努めています。</p> <p>今治城の人員配置の体制は仕様書のとおりであり、勤務ローテーションも関係法令どおり遵守しています。管理運営の根幹を成す収蔵品の管理・保存・調査研究、常設展・企画展の開催などは、主として各分野の学芸員の技量に負うところが多く、各種研修会等に積極的に参加しスキルアップに努めています。</p>	A	<p>河野美術館、今治城ともに、有資格者の配置など組織体制としては適正に運用されている。そのことが管理運営面においてサービスの向上につながっていることは評価できる。</p> <p>現状の体制の中において、職員研修を積み重ね知識や技術の習得により人材育成に継続的に努めていることは評価できる。今後は、研修の成果が業務に一層反映されることを期待します。</p>

<p>管理運営業務</p>	<p>A</p>	<p>河野美術館は、仕様書で定めた管理業務基準及び関連法令等を遵守する中で、適正かつ効率的な管理業務を遂行するために、管理業務の手法の確立、速やかな執行、管理記録簿の充実等を図りました。</p> <p>今治城は、仕様書で定めた管理業務基準及び関連法令等を遵守する中で、適正かつ効率的な管理業務を遂行するために、管理業務の手法の確立、速やかな執行、管理記録簿の充実等を図りました。</p>	<p>A</p> <p>河野美術館、今治城ともに、仕様書に従い各業務が各事業が適正に行われている。手法の確立、速やかな執行、記録の充実など、高く評価できる。</p> <p>今後も利用者の立場に立った管理運営業務実施にあたっていただきたい。</p>
<p>利用業務</p>	<p>A</p>	<p>河野美術館は、玉川近代美術館との連携事業により、中学生や高校生を含めた幅広い世代を対象に文化芸術に触れ合う機会を提供することができました。</p> <p>今治城は、7月豪雨災害の風評被害により、年間利用者は目標値より9%低くなりましたが、1月以降は様々な取り組みにより昨年同等まで回復することができました。今後も、魅力ある常設企画展示を開催し、宣伝効果の高い媒体を活用した情報発信を行うことにより集客力のアップにつなげます。</p>	<p>A</p> <p>河野美術館、今治城ともに、使用許可や減免手続きは、適切に行われている。</p> <p>利用促進業務においては、ホームページや広報誌、その他広告媒体を通じた情報発信など、新たな取り組みを行うことで、7月豪雨の影響による利用状況の落ち込みを例年並みに回復したことは評価できる。</p> <p>引き続き、利用実態の把握に努め、収集した基礎データを踏まえた積極的な事業実施を進めることで、新規利用者の獲得やリピーターの確保につなげ、入館者数全体の底上げを図っていただきたい。</p>
<p>その他業務</p>	<p>A</p>	<p>河野美術館は、特に重大な事故は発生しておらず、順調に推移しています。「河野美術館緊急時対応マニュアル」や「消防訓練実施要領」を作成し、事故や災害等に備えています。省エネ対策、喫煙対策や個人情報に関する対応はそれぞれ職員の教育を行っており、職員の意識の醸成が図られています。今後ともこの状態を維持・向上できるよう施設の改善を図ると共に職員の教育に取り組んでいきます。指定管理者制度における柔軟な管理運営の実例として、本来は休館日となっている12月29日と30日、及び1月2日と3日を特別開館しています。正月休みの帰省客等に美術館に立ち寄ってもらう取り組みですが、期間を通じての来館者は減少傾向にあります。広報周知の方法を含めて実施方法を再検討しなければなりません。</p> <p>今治城は、特に重大な事故は発生しておらず、順調に推移しています。また消防訓練を実施し事故や災害に備えています。</p>	<p>A</p> <p>河野美術館、今治城ともに、利用者に対するサービスの向上など従前からの継続した取組みが、職員の意識醸成へもつながっていることは、評価できる。また、利用者ニーズを意識した施設開館に継続的に取り組んでいることも評価できる。</p> <p>また各種のマニュアル整備を充実し適正に業務執行を行っており、重大な事故もなく施設運営が順調に推移していることも指定管理者の努力の結果であると評価できる。</p>
<p>自主事業</p>	<p>B</p>	<p>河野美術館は、館蔵品の名品を広く地域住民に公開すると共に、地域の美術文化に寄与するテーマを決め展示し、また地域で活躍している作家達の作品発表の場を提供する為の努力もしており、一定の成果を上げています。特に、昨年度は開館50周年の節目の年に当たっていたところから記念展を開催し、約1万点の収蔵品を擁する施設の魅力・存在感を来館者をはじめ多くの人たちに再認識してもらいました。</p> <p>今治城は、地域の学術文化の発展に寄与するため、常設展示に加えて、今治城および今治地域に関わる歴史や生活文化、芸術をテーマにした特別展や企画展を行いました。またスタンプラリー、今治城クイズを今年度も自主事業として実施しました。</p>	<p>B</p> <p>収蔵品を活かした多様な自主事業を行い地域の文化向上に貢献したことは評価できる。</p> <p>河野美術館においては、H27年度に初めて実施した「アートクラブグランプリ今治巡回展及び関連ワークショップ」が夏休み中の企画展として定着し、中学生の来館に繋がっている。</p> <p>また、今治城においても、H28年度から始めた今治の歴史に関わる特別展の開催が恒例化している。</p> <p>今後とも、新たなことに挑戦し、慣例にとらわれず、常に改善改良の余地を見出し、施設全体の利用増につながる魅力ある自主事業の展開に努めていただきたい。</p>
<p>修繕業務</p>	<p>A</p>	<p>河野美術館は、老朽化が進み、施設本体や機械設備の劣化が目立っています。修繕の優先度合いとしては、来館者や職員の危険防止・安全確保に関するもの、収蔵文化財の保存管理に関するもの、快適な施設の利用環境の向上に資するものの順に、緊急性の高いものから実施するようにしています。昨年度は、河野美術館では屋上防水工事、展示室照明修繕を実施しました。修繕の中には、本来は市の負担区分に属する金額も含まれていますが、特命指定を受けている法人の特性もふまえて単独で工事を実施しております。</p> <p>今治城では、老朽化が進み、施設本体や機械設備の劣化が目立っています。修繕の優先度合いとしては、来館者や職員の危険防止・安全確保に関するもの、収蔵文化財の保存管理に関するもの、快適な施設の利用環境の向上に資するものの順に、緊急性の高いものから実施するようにしています。御金櫃の雨漏りに備えての、間仕切り壁の改修や、照明器具のLED化、山里櫓門、犬走り照明等の改修を実施しました。修繕の中には、本来は市の負担区分に属する金額も含まれていますが、特命指定を受けている法人の特性もふまえて単独で工事を実施しております。</p>	<p>A</p> <p>河野美術館、今治城ともに、施設が老朽化しており、そのことを十分把握し緊急の修繕にも適正迅速に対応いただいていることは評価できる。</p> <p>また、例年計画的に実施している収蔵品の修繕については、7月豪雨災害による収入減と修繕の緊急性とを勘案した結果、延期としたことは十分理解できる。</p>

備品管理業務	A	<p>河野美術館は、修繕等で備品の耐用年数の延長を図り、経費節減に努めています。</p> <p>今治城は、修繕等で備品の耐用年数の延長を図り、経費節減に努めています。収蔵品の保管や企画展等の周知や研究を図るために必要な物品を購入しました。貸与車輛は日常点検・定期点検を実施するとともに、運転日誌を作成して適正な運行管理に努めています。安全運転の励行については、館長が朝礼等で注意喚起を行っています。</p>	A	<p>河野美術館、今治城ともに、備品管理においては、適切に管理されている。</p> <p>収蔵庫が十分とは言えない環境の中、収蔵スペースの拡充を図るなど、積極的に備品管理の環境整備を行っていることは評価できる。</p>
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	<p>河野美術館は、仕様書の定めに従い管理運営収入としました。</p> <p>今治城は、仕様書の定めに従い管理運営収入としました。</p>	B	<p>目的外使用の許可手続、収益処理とともに適切な事務手続が行われている。</p> <p>今後は、収入の推移にも気を配り、利用者ニーズの把握、利便性の向上に一層努めていただきたい。</p>
地域団体との連携	A	<p>河野美術館は、文化意識の醸成や利用率のアップにもつながることから、「今治市河野美術館を育てる会」や地域の文化団体と連絡を密にし、地域の文化を振興し、その成果の発表の場として、積極的に連携に努めました。玉川近代美術館との連携・協力事業も、さらに内容を充実させて継続実施しています。これらの取組みを通じて、施設の有効活用、利用者間交流、職員等の人材育成につなげようと考えています。</p> <p>今治城は、「全国城郭管理者協議会」について、全国の城郭が抱える共通の課題や問題点を相互に認識し、よりよい方向へ導く方策を検討する機関として活用しています。</p> <p>「今治地方観光ボランティアガイドの会」には、総合学習、校外学習の時間や遠足の機会を利用して来城する小中学生を対象に、今治市の歴史・文化に対する知識や理解、愛着を深めてもらうために、ガイドを依頼しています。また、土・日・祝日の来城者や団体旅行者への観光ガイドサービスについては、利用者から好評をいただいております。</p>	A	<p>河野美術館は、従前から地域の文化団体と連携を図り、地域の方との共同企画事業、市民主体の事業も多数実施されている。こうした事業の継続的な実施は、各団体との固い結びつきによるもので、評価できる。</p> <p>一方、今治城においては、ボランティアガイドなど今治城との関わりを持った団体と互いに協力関係にあることは評価できる。</p> <p>引き続き、既存の関係団体との協力関係を更に深めるとともに、新たな団体など連携の範囲を積極的に広げていただきたい。</p>
利用者アンケート	B	<p>河野美術館は、アンケート調査を形式的なものとして、その要望に対して可能な限り対応しなければならないという基本的な考え方に基づいて、職員の指導、展示環境の改善、施設の改修などを実施しています。接客対応や展示内容の良し悪しといったソフト部門では概ね高評価を得ていますが、ハード面では、施設の構造そのものや老朽化した設備に対する不満も見受けられます。建設されてから、かなりの年数が経過しており近代的な施設とは比べようありませんが、利用者からは常に使いやすく快適なサービスを求められます。これらの根本的解決方法は建替えを含めた施設整備であると考えており、市当局におかれては、出来る限り早い段階で具体的な更新計画を立案されるよう希望します。</p> <p>今治城は、アンケートの中で多くみられる空調設備がないことによる気温等への対応を図るため扇風機やセラミックヒーターの設置、うちわの貸し出しを行うと共に、順路についても天守3階についてはボールパーテーションの活用により設置を行いました。接客対応や展示内容の良し悪しといったソフト部門では概ね高評価を得ていますが、ハード面では、施設の構造そのものや老朽化した設備に対する不満も見受けられます。建設されてから、かなりの年数が経過しており近代的な施設とは比べようありませんが、利用者からは常に使いやすく快適なサービスを求められます。これらの根本的解決方法は建替えを含めた施設整備であると考えており、市当局におかれては、出来る限り早い段階で具体的な更新計画を立案されるよう希望します。</p>	B	<p>河野美術館、今治城ともに、利用者の評価やニーズの把握に役立つようアンケートを実施し、結果を踏まえ、可能なことから改善に取り組んでいる。</p> <p>今後は、より多くの利用者の貴重な意見が集約できるよう、アンケートの実施方法についての工夫に努めていただきたい。</p>

<p>事故・苦情</p>	<p>B</p>	<p>河野美術館は、特段の事故や苦情は発生していません。引き続き事故の未然防止に努め、事故発生の場合は、被害者の立場に立った適切な措置を行います。また、苦情についてもスタッフ一同接客対応に際し、情報の共有化を図るため発生事案について利用者からの苦情の内容等を書面に報告するよう周知徹底しました。</p> <p>今治城は、特段の事故や苦情は発生していません。引き続き事故の未然防止に努め、事故発生の場合は、被害者の立場に立った適切な措置を行います。また、苦情についてもスタッフ一同接客対応に際し、情報の共有化を図るため発生事案について利用者からの苦情の内容等を書面に報告するよう周知徹底しました。</p>	<p>B</p>	<p>特段の事故は発生していない状況である。このことは未然の防止に日々努めている結果であり評価できる。今後も些細なことも見逃さず、業務に従事していただきたい。</p> <p>また、苦情に関しては些細なことも把握し分析する必要がある。苦情は、第三者の現状分析であり、運用改善のヒントになるものである。些細なことにも気にかける努力は必要と思われる。</p>
<p>指定管理者の経営状態</p>		<p>指定管理者として問題なく経営が行われている。</p>		

<p align="center">総合コメント（今治市）</p>	
<p>指定管理者は、当該施設における設置目的を理解し、関係法令や仕様書にしたがって適正に業務を実施している。</p> <p>老朽化した施設で十分な設備とは言えない面がある中で、利用者により良いサービスを提供し満足度を高める努力を実施してきたことは評価できる。H30年度は、7月豪雨災害の影響により、毎年右肩上がり順調に推移してきた今治城の年間入館者数が減少に転じたものの、H31年1月以降は昨年並みにまで回復している。新聞広告等による宣伝広報活動や、利用者ニーズの把握などによる改善努力を継続してきた結果が現在の入館者数の底上げと満足度の向上につながっているものと思われる。</p> <p>引き続き、利用者ニーズの把握・分析を進め、その結果を踏まえた自主事業などの取り組みを積極的に展開し、様々な周知活動を行い、更なる入館者増や文化振興推進への貢献を期待する。</p>	

<p align="center">指定管理者選定審議会による総合評価</p>	
<p>総合評価</p>	<p>B</p> <p>学芸員及び運営主体の努力により、良好な管理運営がなされている。高齢化や外国人利用者の増加、予期せぬ災害発生といった社会状況において、また文化行政に求められるニーズも多様化する中で、地域の文化向上、発展に貢献できていると評価できる。</p> <p>引き続き魅力ある事業の実施に取り組んでいただくとともに、広報活動の充実にも一層取り組んでいただきたい。</p> <p>今後のさらなる躍進のために、働き方改革の主旨を踏まえ、施設間の連携をより深め、また新たな事業展開にもう一步踏み出していいただきたい。</p>